

多摩川流域懇談会の活動紹介



多摩川流域とは??



万年橋(青梅市)

- ・ 山梨県甲州市の笠取山 (1,953m) を源流とし、東京都と神奈川県の間を流れ、東京湾に注ぐ一級河川
- ・ 流域面積 1,240km²
- ・ 幹川流路延長 138km
- ・ 流域の33.5%が市街地、60.7%が山林等
- ・ 流域の範囲の人口 約414万人



六号橋周辺(大田区・川崎市)



河口干潟(川崎市)



多摩川流域懇談会 設立経緯

- ✓ 1964年 東京オリンピック開催
- ✓ 1966年 多摩川河川敷開放計画
河川敷のスポーツ利用を促進し、国民の体力増進の場として活用



流域の都市化が進むと同時に元来の多摩川の自然が破壊。住民運動活発化。



全国で初めて行政と住民の直接の話し合いを積み重ねる取り組みが開始

- ✓ 1980年 多摩川河川環境管理計画
治水中心だった河川管理に、自然環境の考えを初めて取り入れた



- ✓ 1996年 「パートナーシップではじまる<いい川>づくり」
流域交流懇談会(座長：横山十四男)による提言書がまとめられる



多摩川流域懇談会 設立

- ✓ 1998年 流域交流懇談会より提言された
「パートナーシップではじめる<いい川>づくり」を具体化するため設立

多摩川流域懇談会 これまでの歩み

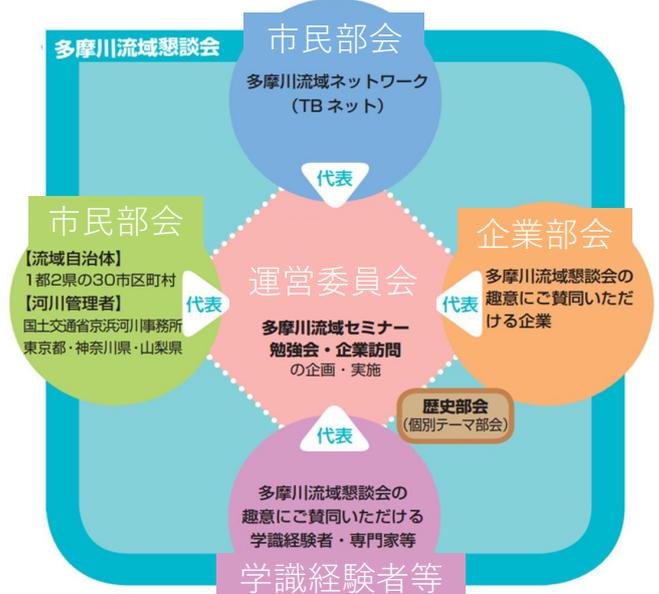
- ✓ 『市民部会』『行政部会』『企業部会』『学識経験者等』から構成。
- ✓ 各部会から代表者を選出した
『運営委員会』において、
『<いい川>』や『<いいまち>』の実現に向け、ゆるやかな合意形成を目的

これまでの活動

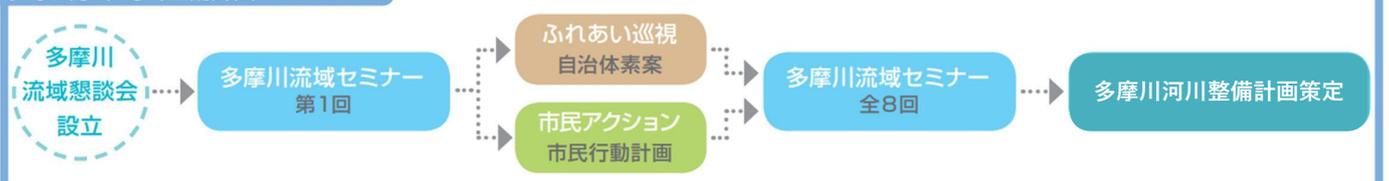
- ・多摩川河川整備計画 意見交換 (1999年～)
- ・夢ビジョン作成
- ・多摩川歴史巡り (歴史セミナーリーフレット作成)
- ・流域セミナー61回、歴史セミナー13回開催
- ・運営委員会277回開催 など

現在の活動

- 「運営委員会」 : 月1回
- 「多摩川流域セミナー」 : 年3～4回
- 「多摩川歴史セミナー」 : 年1回



多摩川水系河川整備計画ができるまで



多摩川“夢”ビジョン

多摩川にこれまで多くの人々が思いを寄せてきました。かつての歴史を踏まえ、未来に向けてどのような多摩川であればよいのか、これは、多摩川を愛する人々が思い描いた将来の多摩川の姿です。多摩川をつなぎ、世代、流域、ひとがつながる将来を描いています。次世代を担う子どもたちを思い、多摩川の未来を想像し、実現しようとする取り組み、それがGIとしての「多摩川夢ビジョン」です。



多摩川流域の動き
 2014年野川でGIへの取り組みが開始
 ↓
 2021年多摩川本川でGIの議論が開始
 その方向性は「多摩川夢ビジョン」としてまとめた

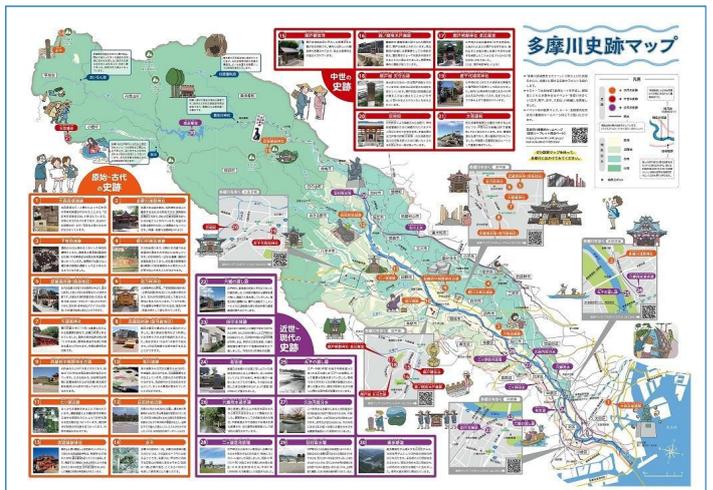
行政の動き

2020年10月
 台風19号 甚大な被害発生
 ↓
 2020年1月
 洪水対策の緊急政策を発表
 (国土交通省)
 GIに取り組む必要性が謳われる



『多摩川歴史巡り』 歴史セミナーリーフレット

多摩川と人間の関わりの歴史を掘り起こし、「多摩川らしさ」としての地域文化を再発見することを目的に、これまで多摩川流域歴史セミナーを開催してきました。歴史セミナーリーフレット「多摩川歴史巡り」は、全10回の歴史セミナーの内容をまとめたものとなっています。また、セミナーで取り上げられた史跡を中心に、多摩川に関する史跡やスポットを紹介しています。多摩川の源流域から河口まで、古代から現代までの歴史をリーフレットで触れ、ぜひ散策マップと併せて史跡巡りをお楽しみください。



～多摩川の歴史を歩く～
多摩川デジタルスタンプラリー
 開催期間：2024.7.9～22日
多摩川から紐解く日野の歴史と暮らし
 第12回多摩川流域歴史セミナーに
 関わる史跡をスタンプラリーに
 しました。

【ポイント一覧】
 ●日野駅
 ●日野水産本部
 ●日野宮神社
 ●日野川橋
 ●日野林業事務所試験場
 ●日野ふるさと会館

← 史跡を巡る
 スタンプラリーも開催！

リーフレットのURL →
<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin01109.html>



多摩川流域懇談会・矢作川流域圏懇談会連携企画の実施

平成13年3月の多摩川水系河川整備計画の策定にあたっては、「多摩川流域セミナー」で市民団体、流域自治体、河川管理者が様々な意見を出し合いながら、計画を具体化していきました。河川整備計画策定以降も、多摩川流域懇談会が目指す『パートナーシップではじめるくいい川づくり』を具体化するため、毎回様々なテーマで皆さんとご意見を交わしています。

◆第61回多摩川流域セミナー 2024.11.30

◇『矢作川がわかれば 多摩川が見えてくる
多摩川がわかれば 矢作川が見えてくる』

◇開催：大師河原干潟館・(ZOOM) 併用

◇基調講演

「多摩川の姿と課題—過去30年のフィールド調査からの学び—」
小堀 洋美 氏 (東京都市大学)

「流域の視点からみた治水と総合水管理」
蔵治 光一郎 氏 (東京大学大学院)

「多摩川の市民団体とTBネット」
佐山 公一 氏 (みずとみどり研究会)

「多摩川流域懇談会発足の経緯と取組」
大野 智弘 氏 (京浜河川事務所)

「矢作川流域圏懇談会14年のあゆみ」
洲崎 燈子 氏 (豊田市矢作川研究所)

「矢作川流域圏懇談会発足の経緯」
蔭山 敦士 氏 (豊橋河川事務所)

◇意見交換

開催報告を京浜河川事務所HPにて公開しています →
<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00123.html>



多摩川流域懇談会・
矢作川流域圏懇談会連携企画！
(第61回多摩川流域セミナー)

2024.11.30. Sat

矢作川がわかれば
多摩川が見えてくる
多摩川がわかれば
矢作川が見えてくる

東京を流れる多摩川と、愛知を流れる矢作川。長さや流域の広さはよく似ている二つの川ですが、違うところもたくさんあります。二つの川の違うところやいいところを一緒に見つけて、川のステキな未来について考えてみませんか？

日時：2024.11.30 (土曜日)
午前の部 10:00~12:00 (定員30名)
午後の部 13:00~17:00 (会場35名・WEB150名)

場所：大師河原干潟館 (川崎市、多摩川河口部)

プログラム
午前の部：多摩川河口部のアシ原・干潟・高規格堤防の散策
午後：矢作川・多摩川流域間交流セミナー

★矢作川流域圏懇談会の講演・話題提供 ★多摩川流域懇談会の講演・話題提供
☆流域の視点からみた治水と総合水管理 ☆多摩川の姿と課題
蔵治 光一郎 (東京大学大学院教授、山形県市長) 一過去30年のフィールド調査からの学び—
小堀 洋美 (東京都市大学教員、山形県市長) 小堀 洋美 (東京都市大学教員、山形県市長)
☆矢作川流域圏懇談会14年のあゆみ ☆多摩川の市民団体とTBネット
洲崎 燈子 (豊田市矢作川研究所主任研究員) 佐山 公一 (みずとみどりの研究会、事務局局長)
蔭山 敦士 (豊橋河川事務所専任河川官) ☆多摩川流域懇談会発足の経緯と取組
大野 智弘 (京浜河川事務所専任河川官)

★話題提供：矢作川と多摩川の空中写真比較
松沢 孝博 (日本トンネル学会・総務幹事長)

CPDプログラム
認定予定！
www.ktr.mlit.go.jp

多摩川流域懇談会フェイスブック
<https://www.facebook.com/tamaryukon>

多摩川流域セミナー
申し込みページ
<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00123.html>



多摩川流域懇談会・矢作川流域圏懇談会連携企画の実施

平成13年3月の多摩川水系河川整備計画の策定にあたっては、「多摩川流域セミナー」で市民団体、流域自治体、河川管理者が様々な意見を出し合いながら、計画を具体化していきました。河川整備計画策定以降も、多摩川流域懇談会が目指す『パートナーシップではじめるくいい川づくり』を具体化するため、毎回様々なテーマで皆さんとご意見を交わしています。

◇現地視察



最近の活動紹介

平成13年3月の多摩川水系河川整備計画の策定にあたっては、「多摩川流域セミナー」で市民団体、流域自治体、河川管理者が様々な意見を出し合いながら、計画を具体化してきました。河川整備計画策定以降も、多摩川流域懇談会が目指す『パートナーシップで始めるくいい川づくり』を具体化するため、毎回様々なテーマで皆さんとご意見を交わしています。

◆第13回多摩川流域歴史セミナー 2025.6.1 (日)

◇『古墳からみた多摩川流域の地域史』

◇開催：奥沢区民センター別館・Web

◇概要

【現地視察】

鶉の木松山公園横穴墓、多摩川台古墳群を歩き、多摩川の地域史を紐解きました。

【基調講演】

「古墳からみた多摩川流域の地域史」

松崎 元樹氏

(公益財団法人東京都教育支援機構東京都埋蔵文化センター調査研究員、桜美林大学非常勤講師)



← 過去の歴史セミナーの開催報告はこちらから
https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index116.html

◆第60回多摩川流域セミナー 2024.9.28

◇『多摩川でつながる環境の現在と未来 ~流域の大学連携をめざして~』

◇開催：東京工業大学西9号館・Web

◇概要

【基調講演】

講演①「源流域で急減している半自然草地における植物・昆虫の種多様性」
 今井伸夫氏 (東京農業大)

講演②「多摩川を始めとする全国河川のマイクロプラスチック汚染状況の実態と課題」
 二瓶泰雄氏 (東京理科大)

講演③「自然の循環と循環型社会 -多摩川流域で確かめる2つの循環」
 土肥真人氏 (一財) エコロジカル・デモクラシー財団・東京工業大学)



← 過去の流域セミナーの開催報告はこちらから
<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00123.html>

今後の流域セミナーのご案内

◆第62回多摩川流域歴史セミナー 2025.7.13 (日)

主催：多摩川流域懇談会

第62回多摩川流域セミナー

気候変動時代の多摩川について考える -多摩川水系河川整備計画変更-

多摩川の河川整備計画が変更されます。気候変動で多摩川はどうなるのか、多摩川水系河川整備計画の変更で多摩川はどうなっていくのかをご紹介します。

2025 7/13 (日) 10:30~16:00

【午前の部】 集合場所：港町駅北口前 (東京銀行 大塚駅) 10:30までに集合
 【午後の部】 開催会場：川崎市教育文化会館 (第4、5会議室) (WEB併用) (川崎駅から徒歩約15分)

【定員】 午前の部30名、午後の部50名 (いずれも先着)
 【スケジュール】 午前の部 (現地見学) 10:30~11:30
 午後の部 (セミナー) 13:00~16:00 (WEB併用)

※現地見学については暑くなる可能性があります。飲料など熱中症対策各自お持ちください。
 ※雨天、台風接近等に押し止まる場合がございます。
 ※セミナー会場では飲食が可能です。

【午前の部】 現地見学
 川崎河港水門や高規格堤防 (港町地区) の現地を歩き、多摩川の治水・環境の現状について探ります。
 ◆川崎河港水門、高規格堤防整備事業 (港町地区) を見学

【午後の部】 セミナー
 多摩川水系河川整備計画の変更で多摩川はどうなっていくのかをご紹介します。
 ◆多摩川水系河川整備計画変更について 概要説明：京浜河川事務所
 ◆基調講演：「気候変動とその対応で多摩川の環境はどうなっていくのか」
 知花 佳佳氏 多摩川流域懇談会会長、政経研究大学大学院教授
 ◆意見交換「いっしょに考えてみませんか 多摩川のこれから」

川崎河港水門
 百川多摩

高規格堤防整備事業 (港町地区) 六郷のヨシ原

CPD認定プログラム 申請中

多摩川流域懇談会フェイスブック
<https://www.facebook.com/tamaryukon>

多摩川流域セミナーホームページ
<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00123.html>

◆第63回多摩川流域セミナー 2025.9.15 (月・祝)

◇多摩川流域の水とお酒『水の恵み、一杯の酒』(仮)

◇開催：小澤酒造、青梅市沢井市民センター

◇概要

【現地見学】

小澤酒造の見学・御岳渓谷の散策

【講演】

講演① 小澤会長 (小澤酒造)

講演② 多摩川流域のクラフトビール

意見交換



↑ 多摩川流域セミナー！の情報はこちら

多摩川が取り組むグリーンインフラ～夢ビジョンの実現に向けて～

4分55秒



ご清聴
ありがとうございました

